

ちょうようになるまで

2年 せつめい文 3ばん

なまえ

春のはたけで、白いもんしろ
ちょうがとんでいます。でも、
はじめからこのすがたではあ
りません。

はじめは、キャベツのはにう
みつけられた小さなたまごで
す。たまごからかえるとあおむ
しになり、キャベツのはをも
りもり食べて大きくなります。

やがて、あおむしは食べるの
をやめてさなぎになります。
さなぎはほとんどうごきません
が、中では体がちょうにかわ
っています。

ある朝、さなぎのせなかが
われて、ちょうが出てきます。
出てきたちょうは、すぐには
とべません。はねがまだしわし
わだからです。はねがのびてか
わくと、空へとび立ちます。

(1) 「もりもり」のいみに合うものを一つえらび、記
ごうに○をつけましょう。
ア 少しだけ、ゆっくりと
イ のこしながら、いやそうに
ウ いきおいよく、たくさん
エ ときどき、休みながら

(2) 文しように書いてあることに合うものを一つえ
らび、記ごうに○をつけましょう。
ア さなぎの中で、体がちょうにかわる。

イ はじめから、ちょうのすがたで生まれる。
ウ さなぎになっても、キャベツを食べつづける。
エ たまごからかえると、すぐさなぎになる。

(3) もんしろちょうのたまごは、どこにうみつけられ
ますか。文しように六字で書きぬきましょう。

(4) さなぎから出てきたちょうが、すぐにとべないの
はなぜですか。書きましょう。

書き方のヒント

四つ目のだんらくの「すぐにはとべません」のあとを見よう。
「ゝから。」でお知らせ。

ちょうになるまで

こたえ

2年 せつめい文 3ばん

なまえ

春のはたけで、白いもんしろ
ちょうがとんでいます。でも、
はじめからこのすがたではあ
りません。

はじめは、キャベツのはにう
みつけられた小さなたまごで
す。たまごからかえるとあおむ
しになり、キャベツのはをも
りもり食べて大きくなります。

やがて、あおむしは食べるの
をやめてさなぎになります。
さなぎはほとんどうごきません
が、中では体がちょうにかわ
っています。

ある朝、さなぎのせなかが
われて、ちょうが出てきます。
出てきたちょうは、すぐには
とべません。はねがまだしわし
わだからです。はねがのびてか
わくと、空へとび立ちます。

(1) 「もりもり」のいみに合うものを一つえらび、記
ごうに○をつけましょう。

ア 少しでも、ゆっくりと

イ のこしながら、いやそうに

ウ いきおいよく、たくさん

エ ときどき、休みながら

(2) 文しように書いてあることに合うものを一つえ
らび、記ごうに○をつけましょう。

ア さなぎの中で、体がちょうにかわる。

イ はじめから、ちょうのすがたで生まれる。

ウ さなぎになっても、キャベツを食べつづける。

エ たまごからかえると、すぐさなぎになる。

(3) もんしろちょうのたまごは、どこにうみつけられ
ますか。文しように六字で書きぬきましょう。

キ ヤ ベ ツ の は

(4) さなぎから出てきたちょうが、すぐにとべないの
はなぜですか。書きましょう。

(れい) はねがまだしわしわだから。

書き方のヒント

四つ目のだんらくの「すぐにはとべません」のあとを見よう。

「〜から。」でお知らせ。

解答・解説 ちょうになるまで（2年・せつめい文）

もん 問1 ウ

二つ目の だんらくに「キャベツの はを もりもり 食べて 大きく なります」と 書いて あります。いきおいよく たくさん 食べる ようです。

もん 問2 ア

三つ目の だんらくに「中では 体が ちょうに かわっています」と 書いて あります。二つ目の だんらくに「たまごから かえると あおむしに なり」、三つ目の だんらくに「食べるのを やめて さなぎに なります」と あるので、ほかは 合いません。

もん 問3 キャベツの は

二つ目の だんらくに「キャベツの はに うみつけられた 小さな たまごです」と 書いて あります。

もん 問4 （れい）はねが まだ しわしわだから。

四つ目の だんらくに「すぐには とべません。はねが まだ しわしわだからです」と 書いて あります。はねが しわしわな ことが 書けて いれば ○です。